

ななむら

第106号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

令和6年4月1日現在

世帯数：515世帯

人口：男 638人

女 726人

計 1,364人

『野菜づくり講座』を開催しました!

3月25日(月)照来地区公民館におきまして「野菜づくり講座」を開催しました。例年この「野菜づくり講座」は、6月と10月に開催していますが、10月の講座は冬に向う時期であり、3月頃がいいのではという意見もあり、今年度3月に開催しました。

毎年同じような内容ということもあったのか、例年より若干少ない16名の参加者でした。

ただ、始めて参加したという方が何名かいました。

内容は、「ジャガイモ栽培」「玉ネギ栽培」「ピーマン栽培」について、「J A たじま温泉営農生活センター」営農相談員の植田雅重さんにお話しをいただきました。

●「ジャガイモ栽培」では、土づくり、種イモ、植付け、芽かき、土寄せ・追肥、害虫防除、収穫、貯蔵等についてのお話しでした。

●「玉ネギ栽培」では、追肥の時機、べと病の防除方法、収穫と貯蔵等についてのお話しでした。

●「ピーマン栽培」では、『一緒に出荷量関西No1の「たじまピーマン」を栽培しましょう!』と「ピーマン」が今後のおすすめ野菜であるとの話しでした。

質疑の時間では、参加者から土壌が酸性なのかアルカリ性なのか素人ではわからない。(A:簡易な土壌酸度計等があります。)とか、ジャガイモの切り口の乾燥方法は?等、質問が相次ぎ熱心さが伝わりました。

講師の植田さんは、この4月から「浜坂営農生活センター」へ異動となりました。異動発表後の大変な時期にもかかわらず快くお話しをいただき本当にありがとうございました。

資料が数部残っています。必要な方はご連絡ください。



「照来小学校入学式」が行われました!

4月9日(火)「令和6年度照来小学校入学式」が、6名の新生を迎え行われました。新生の皆さん、保護者の皆さん、心からお祝い申し上げます。

大変少ない新生ですが、名前を呼ばれると元気よく返事をし、田中豪士校長から教科書を受取っていました。(写真)

この入学式を見ながら、先日新聞に掲載されていた「東井義雄先生」のことを思い出しました。ご存知の方も多いかと思いますが。

東井義雄先生は明治45年(1912年)京都で生まれ3歳の時に実家のある但東町に帰ってから一度も但馬から出ることなく、教師として村の教育に一生を捧げています。

新聞にも書かれていましたが、最も有名な著書に「村を育てる教育」があります。戦後の貧しい地域で教師をしていたときに「この村を出て行くために勉強する」という環境に疑問を持ち、進学するための学力を「村を捨てる学力」と呼びました。大切なのは、その地域を豊かにする「村を育てる学力」であると主張しています。

こうした村を育てる学力の大切さを訴え、日本の教育に大きな影響を与え、教育者として全国に知られた方です。

新生の皆さんをはじめ、照来小学校の児童の皆さんには「村を捨てる学力」よりも「村を育てる学力」を身に付けてほしいと思います。超少子高齢化社会となっているこの照来に、最も必要なことでは。



「照来小学校学校運営協議会」が開催されました

4月18日(木)「照来小学校学校運営協議会(コミュニティスクールが、照来小学校で開催されました。

最初に、新しく委員になられた方に教育委員会より任命書の交付がありました。続いて承認案件が下記の2件あり、どちらも全会一致で承認されました。

①会長・副会長の選任について

○会長：坂本 明 氏 ○副会長：岡本 操 氏

②令和6年度学校経営について

田中豪士校長から、学校経営について説明がありました。

「ふるさとを愛し ところ 豊かな未来を創りだす 子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、●めざす児童像 ●めざす学校像 ●めざす教職員像等の内容説明でした。

委員からは、現在の家庭・地域の実情等について具体的な意見が多く出ました。予定時間を大きくオーバーするほど熱心に意見交換ができたと思います。

学校も委員も照来っ子のことを真剣に考えているなと感じました。



「メディカルヨガ教室」

「年間計画」です。

開催日

- 5月21日(火)
- 6月18日(火)
- 7月16日(火)
- 8月20日(火)
- 9月17日(火)
- 10月15日(火)
- 11月19日(火)
- 12月17日(火)
- 3月18日(火)

■場所：照来地区公民館
■時間：19：30～21：00

照来の歴史 (59) 照来にある『狛犬』

「狛犬」とは「邪気払い」の意味で、神社の参道の両端に置かれている像のことで、門番・番犬の役割りを担っていると言われていています。神社によっては「狛犬」ではなく、狐や牛などの場合もあります。狐は稲荷神社、牛は天満宮に見られ、共にお祀りされている神様の神使(お使い)であるとされています。

●狛犬は左右で呼び方が違う？

鎌倉時代までの「狛犬」は、向って左側は「狛犬」、向って右側は「獅子」と呼ばれていました。鎌倉時代以降2つを一对とし、まとめて「狛犬」と呼ぶようになったそうです。清少納言の「枕草子」吉田兼好の「徒然草」にも「獅子と狛犬・・・」と分けています。

●狛犬の左右の阿吽

平安時代以降の狛犬は、左右でと吽形(うんぎょう [閉口]) 阿形(あぎょう [開口]) になっています。

●阿吽の位置

向って右が「阿」、左が「吽」です。昔は右側から読んでいたことから、右から「阿吽」と読むと覚えやすいようです。皆さんご存知の「阿吽(あうん)の呼吸」です。

もちろん、照来にも「狛犬」は設置されており、私が確認しているだけで次の4神社にありました。

- 桐岡「前原神社」の狛犬は、大正12年に寄進されたもので、右側の狛犬は子どもを抱えています。こうした狛犬は、江戸後期から見られるようですが、大正・昭和初期には「産めや増やせや・・・」の軍国主義時代の影響を受け寄進しているものと考えられています。
 - 多子「清所神社」の狛犬は、昭和2年寄進されたものです。「前原神社」もそうですが、台座に奉納者の名前や年月日を刻印しています。これは、江戸時代中期から一般化されたようです。
 - 丹土「熊野神社」の狛犬には刻印がなく時代はわかりませんが、台座が高いことから明治以降に寄進されたものではないかと思われます。また、尻尾を高くし、威嚇しているようなことから「威嚇式(出雲式)」と呼ばれているもので、出雲地方から日本海沿いに伝わったものではないかと思えます。
 - 塩山「吹上神社」の狛犬は、台座もなく奉納者の刻印もない非常に小さなものです。
- 「狛犬」ではありませんが、飯野「松上神社(稲荷社)」には、稲荷社の眷属(けんぞく)である「狐」が1体あります。(眷属：神道では神様の使いである霊的存在のこと。)

内容は、私の見解です。間違っているかも知れません。



前原神社



清所神社



熊野神社



松上神社



吹上神社

照来地区の皆さんへ



照来地域学校協働本部日より

照来小学校

学校を核とした地域づくり
地域とともにある学校づくり



照来小学校の児童数も年々減少傾向にあります。こうした時こそ学校と地域が連携していかなければならないと感じています。

そこで、大変急なお願いで申し訳ありませんが、照来小学校学校園の「畝づくり」にご協力いただけないでしょうか。

ボランティア活動の内容

<お願いしたいこと>

☆照来小学校グラウンド内にある学校園の「畝づくり」作業

<作業日時>

☆令和6年5月中旬の平日（天候等見ながら決定します）

日時は、決定次第連絡させていただきます。

☆作業時間は午前中の1時間程度を予定しています。

<募集人員>

☆5人～6人を予定しています。

<その他>

☆作業道具等はこちらで準備しますが、鍬を持って来ていただければありがたいです。



※ご協力いただける方は、下記までご連絡ください！

<申込み> 5月10日(金)までにお願ひします。

<申込先> 照来地域学校協働本部 山本清孝 ☎92-1738